

簡体字と繁体字の基本-講義

1 導入

この講義の核心は、bemstudy の中国語トラックでは簡体字を標準としつつ、繁体字との対応関係を初期段階から整理しておくことにある。読解では繁体字に触れることがあっても、産出では簡体字へ統一したほうが管理しやすい。

2 直感的な説明

簡体字と繁体字は、字によって差の大きさが異なる。[语/yǔ] と語のように見てすぐ対応がわかるものもある。[书/shū] と書のように形が大きく変わるものもある。

Display

语 ↔ 語
汉 ↔ 漢
书 ↔ 書
国 ↔ 國

3 厳密な説明

3.1 1. 産出基準は簡体字

作文、単語記録、演習解答は簡体字へ統一する。これにより字体混在を避ける。

3.2 2. 読解補助として繁体字を対照する

繁体字は別体系ではなく、対応関係を通じて読解へ接続する対象として扱う。

3.3 3. 字体差と意味差を混同しない

簡体字と繁体字の差は字形の問題であり、日中同形異義語の差は意味の問題である。CHR の内部でも切り分けて記録する。

4 最小の具体例

Display

Hànyǔ かんご
汉语 ↔ 漢語

Túshūguǎn としょかん
图书馆 ↔ 圖書館

diànnǎo でんのう
电脑 ↔ 電腦

5 見分け方

- 産出で字体が揺れるなら、簡体字の固定が必要である
- 読解でだけ止まるなら、繁体字との対照表で補強する
- 意味までずれているなら、字体差ではなく同形異義の問題を疑う

6 最終形

Display

さんしゅつ かんたいじ とういつ
産出は簡体字へ統一

ほんたいじ どっかいほじょ たいしやう
繁体字は読解補助として対照

じけいさ いみさ ぶんり
字形差と意味差を分離する

7 関連リンク

→ [講義](#) 日中同形異義語の基本 [lecture](#) [chinese](#) [character](#)
<https://study.bem130.com/lecture/chinese/character/日中同形異義語の基本-講義/>

→ [問題演習](#) 同形異義語ドリル [exercise](#) [chinese](#) [character](#)
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/character/同形異義語ドリル-問題演習/>